



2026年2月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2026年1月9日

上場会社名 株式会社 リンガー・ハット 上場取引所 東福
 コード番号 8200 URL <https://www.ringerhut.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長兼CEO (氏名) 佐々野 諸延
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 経理担当 (氏名) 峰松 浩一 TEL 03-5745-8611
 配当支払開始予定日 ー
 決算補足説明資料作成の有無：有
 決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2026年2月期第3四半期の連結業績 (2025年3月1日～2025年11月30日)

(1) 連結経営成績 (累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
2026年2月期第3四半期	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
33,483	4.1	1,137	△10.7	1,277	8.6	799	16.3	

(注) 包括利益 2026年2月期第3四半期	806百万円 (20.7%)	2025年2月期第3四半期	668百万円 (78.4%)
------------------------	----------------	---------------	----------------

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
2026年2月期第3四半期	円 銭	円 銭
30.87	—	—

2025年2月期第3四半期	円 銭
26.55	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
2026年2月期第3四半期	百万円	百万円	%	円 銭
30,259		14,118	46.7	544.83

2025年2月期	29,204	13,647	46.7	526.68
----------	--------	--------	------	--------

(参考) 自己資本 2026年2月期第3四半期 14,118百万円 2025年2月期 13,647百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
2025年2月期	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
—	—	5.00	—	7.00	12.00
2026年2月期	—	6.00	—		
2026年2月期(予想)				7.00	13.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2026年2月期の連結業績予想 (2025年3月1日～2026年2月28日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
通期	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	円 銭
45,749	4.5	1,990	17.5	1,994	26.0	1,231	27.1	47.51

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更：有
新規 1社 (社名) Ringer Hut Vietnam Co., Ltd.、除外 一社 (社名) —

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(注) 詳細は添付資料P. 8 「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3)四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- | | |
|----------------------|-----|
| ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 有 |
| ② ①以外の会計方針の変更 | : 無 |
| ③ 会計上の見積りの変更 | : 無 |
| ④ 修正再表示 | : 無 |

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2026年2月期 3Q	26,067,972株	2025年2月期	26,067,972株
② 期末自己株式数	2026年2月期 3Q	154,124株	2025年2月期	156,183株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2026年2月期 3Q	25,912,931株	2025年2月期 3Q	25,910,124株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(1) 本資料に記載されている予想数値は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

(2) 本資料のサマリー情報、【添付資料】「当四半期の経営成績等の概況」及び「セグメント情報等」に記載している売上高には、他の営業収入を含めております。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期の経営成績の概況	2
(2) 当四半期の財政状態の概況	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更に関する注記)	8
(会計方針の変更に関する注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記)	8
(セグメント情報等の注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	10
3. 補足情報	10

1. 経営成績等の概況

(1) 当四半期の経営成績の概況

当第3四半期連結累計期間におけるわが国の経済環境は、高い賃上げ率による所得環境の改善が行なわれている一方、緩やかに回復傾向にあった個人消費は伸び悩んでいる状況が見られます。また、円安や物価高の影響、不安定な国際情勢により先行き不透明な状況が続いております。

外食産業におきましては、外食機会の増加や外国人観光客の増加によるインバウンド需要の回復に伴い、外食需要は回復しつつあるものの、原材料費・光熱費の高騰や継続的な採用難など、依然として事業を取り巻く環境は厳しいものとなっています。

このような状況の中、当社グループは国産野菜の使用など、食の「安全・安心・健康」に継続して取り組むとともに、『全員参加で、成長へのアクセラレーターを踏み込もう』をスローガンに、企業価値向上に努めてまいりました。また、店舗での水光熱の使用量前年比3%削減を目標とする省エネ活動「リンガーチャレンジ2030」を引き続き実施し、温室効果ガス削減に向けて取り組んでおります。

11月に富士小山工場にて株主工場見学会を2日間開催し、抽選で60名の株主様にご参加いただきました。当日は製造ラインを見学いただき、当社製品の安全性・信頼性について理解を深めていただきました。その後の懇親会では、株主の皆さまと意見交換を行い、建設的な対話をを行うことができました。

また、同月東京で株主報告会を開催し、抽選で約430名の株主様にご参加いただきました。上期業績・事業進捗報告後、質疑応答とその後の懇親会を通じて、貴重なご意見をいただきました。

出退店につきましては、国内4店舗、海外3店舗を出店し国内8店舗を退店した結果、当第3四半期連結累計期間末の当社グループ合計の店舗数は、国内631店舗、海外14店舗の計645店舗（うちフランチャイズ店舗153店舗）となりました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は334億83百万円（前年同期比4.1%増）、営業利益は11億37百万円（同10.7%減）、経常利益は12億77百万円（同8.6%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は7億99百万円（同16.3%増）となりました。

セグメント別の概況は次のとおりであります。

(長崎ちゃんぽん事業)

「長崎ちゃんぽんリンガーハット」では、期間限定のメニューとして北海道産のスーパースイートコーンとバターを使用した「北海道コーンバターみそちゃんぽん」を9月から11月上旬まで販売いたしました。また、濃厚な味わいの牡蠣を香ばしく焼きあげた「かきちゃんぽん」を11月より販売し、11月4日から6日間の期間限定で牡蠣と同じ個数ぎょうざが付いてくる「かきちゃんぽん祭」を開催いたしました。

出退店につきましては、国内4店舗、海外2店舗を出店し国内7店舗を退店した結果、当第3四半期連結累計期間末の店舗数は、国内で547店舗、海外で11店舗、合計558店舗（うちフランチャイズ店舗136店舗）となりました。

10月にベトナム初の直営店舗である「リンガーハットエステラプレイス店」をオープンいたしました。エステラプレイスは多くの専門店や飲食店が集まる人気商業施設であり、日本人居住者をはじめ地元のお客様や観光客のご来店を見込んでおります。今後のベトナムにおけるリンガーハットの認知度向上に努めて参ります。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の既存店売上高前年比率は104.6%となり、売上高は274億17百万円（前年同期比4.7%増）、営業利益は9億2百万円（同11.4%減）となりました。

(とんかつ事業)

「とんかつ漬かつ」では、季節商品として秋冬の定番「牡蠣ふらい」の御膳3種類とランチメニュー1種類を販売しております。こちらの商品は、広島県産の牡蠣を使用しており、牡蠣の濃厚な旨味をサクサクの衣と弾力のある食感をお楽しみいただけます。また、品質向上と提供時間の短縮を目的として開発を行った自動昇降式のフライヤーの導入を3月より実施しております。導入店舗数につきましては、当第3四半期に6店舗導入を行った結果、当第3四半期連結累計期間末の導入店舗数は17店舗となりました。

出退店につきましては、海外1店舗を出店し国内1店舗を退店した結果、当第3四半期連結累計期間末の店舗数は国内で84店舗＊、海外で3店舗、合計87店舗（うちフランチャイズ店舗17店舗）となりました。（＊和食業態の長崎卓袱浜勝を含む）

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の既存店売上高前年比率は101.8%となり、売上高は59億31百万円（前年同期比1.6%増）、営業利益は1億63百万円（同25.0%減）となりました。

(設備メンテナンス事業)

設備メンテナンス事業は、当社グループ内における直営店舗及びフランチャイズ店舗の設備メンテナンスに係る工事受注や機器保全などが主な事業内容であり、当第3四半期連結累計期間の売上高は14億95百万円（前年同期比7.3%増）、営業利益1億62百万円（同10.9%増）となりました。

(2) 当四半期の財政状態の概況

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ10億55百万円増加し、302億59百万円となりました。これは主に当第3四半期連結会計期間末が日曜日だったことによる債権回収の後ろ倒しのため売掛金及び未収入金が6億6百万円増加したこと、投資有価証券の時価評価額が2億28百万円増加したことによるものであります。

負債は前連結会計年度末に比べ5億84百万円増加し、161億40百万円となりました。これは主に長期借入金が8億14百万円増加したこと、短期借入金が9億円減少したこと及び当第3四半期連結会計期間末が日曜日だったことにより社会保険料等の納付のため未払費用4億86百万円が後ろ倒しとなったことによるものであります。

純資産は、前連結会計年度末に比べ4億71百万円増加し、141億18百万円となりました。これは主に利益剰余金が4億61百万円増加したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2026年2月期の連結業績予想につきましては、2025年10月10日に発表した前回予想から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年2月28日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年11月30日)
資産の部		
流动資産		
現金及び預金	2,257,906	2,556,914
売掛金	1,554,481	1,955,256
商品及び製品	209,205	246,902
仕掛品	66,306	69,836
原材料及び貯蔵品	342,186	378,912
前払費用	275,876	271,425
未収入金	718,314	924,505
その他	202,731	217,963
貸倒引当金	△70,501	△70,596
流动資産合計	5,556,507	6,551,119
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	9,683,298	9,652,012
機械装置及び運搬具（純額）	1,532,754	1,447,435
土地	5,811,467	5,811,467
リース資産（純額）	56,494	41,367
建設仮勘定	137,454	24,764
その他（純額）	1,063,561	1,187,736
有形固定資産合計	18,285,031	18,164,783
無形固定資産	401,013	421,535
投資その他の資産		
投資有価証券	933,001	1,161,109
繰延税金資産	575,368	527,266
退職給付に係る資産	92,718	105,534
差入保証金	832,607	826,233
建設協力金	48,977	44,087
敷金	2,254,363	2,262,864
その他	224,473	195,060
投資その他の資産合計	4,961,510	5,122,157
固定資産合計	23,647,555	23,708,477
資産合計	29,204,063	30,259,596

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年2月28日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年11月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	914,080	1,015,483
短期借入金	900,000	—
1年内返済予定の長期借入金	2,250,452	2,319,900
リース債務	64,960	61,019
未払金	696,883	694,559
未払費用	1,308,079	1,794,410
未払法人税等	318,031	244,506
未払消費税等	396,850	459,110
株主優待引当金	99,467	95,757
店舗閉鎖損失引当金	3,350	—
資産除去債務	20,169	12,714
その他	547,642	531,857
流動負債合計	7,519,966	7,229,319
固定負債		
長期借入金	4,917,524	5,731,703
長期未払金	21,836	25,559
リース債務	128,605	160,133
株式給付引当金	117,818	113,960
退職給付に係る負債	1,055,320	1,108,651
長期預り保証金	296,367	287,367
資産除去債務	1,473,684	1,473,207
繰延税金負債	932	877
その他	24,806	10,162
固定負債合計	8,036,894	8,911,623
負債合計	15,556,861	16,140,942
純資産の部		
株主資本		
資本金	9,002,762	9,002,762
資本剰余金	2,193,474	2,193,474
利益剰余金	2,305,130	2,766,154
自己株式	△342,570	△339,011
株主資本合計	13,158,797	13,623,381
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	477,590	647,010
為替換算調整勘定	△51,064	△201,856
退職給付に係る調整累計額	61,878	50,118
その他の包括利益累計額合計	488,404	495,273
純資産合計	13,647,202	14,118,654
負債純資産合計	29,204,063	30,259,596

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年3月1日 至 2024年11月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年3月1日 至 2025年11月30日)
売上高	31,554,264	32,867,135
売上原価	10,863,719	11,527,270
売上総利益	20,690,545	21,339,865
その他の営業収入	608,022	615,880
営業総利益	21,298,567	21,955,746
販売費及び一般管理費	20,025,608	20,818,494
営業利益	1,272,958	1,137,251
営業外収益		
受取利息	3,599	8,171
受取配当金	12,279	15,310
為替差益	41,545	116,626
受取補償金	—	65,139
補助金収入	5,206	5,927
その他	16,540	37,689
営業外収益合計	79,171	248,865
営業外費用		
支払利息	111,004	83,450
リース解約損	7,255	3,468
支払手数料	23,553	11,947
その他	34,641	10,022
営業外費用合計	176,455	108,888
経常利益	1,175,674	1,277,228
特別利益		
投資有価証券売却益	32,899	—
店舗閉鎖損失引当金戻入額	181	—
特別利益合計	33,080	—
特別損失		
固定資産売却損	7,810	—
固定資産除却損	6,420	11,425
店舗閉鎖損失	5,089	1,552
減損損失	113,424	62,229
特別損失合計	132,745	75,207
税金等調整前四半期純利益	1,076,010	1,202,020
法人税等	388,082	402,139
四半期純利益	687,927	799,881
親会社株主に帰属する四半期純利益	687,927	799,881

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年3月1日 至 2024年11月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年3月1日 至 2025年11月30日)
四半期純利益	687,927	799,881
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	5,599	169,419
為替換算調整勘定	△32,401	△150,791
退職給付に係る調整額	7,446	△11,760
その他の包括利益合計	△19,356	6,868
四半期包括利益	668,571	806,749
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	668,571	806,749

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更に関する注記)

(連結の範囲の重要な変更)

第2四半期連結会計期間において、Ringer Hut Vietnam Co., Ltd.を新たに設立したため、連結の範囲に含めています。

(会計方針の変更に関する注記)

(「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」等の適用)

「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」(企業会計基準第27号 2022年10月28日。以下「2022年改正会計基準」という。)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しております。

法人税等の計上区分(その他の包括利益に対する課税)に関する改正については、2022年改正会計基準第20-3項ただし書きに定める経過的な取扱い及び「税効果会計に係る会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第28号 2022年10月28日)第65-2項(2)ただし書きに定める経過的な取扱いに従っております。なお、当該会計方針の変更による四半期連結財務諸表への影響はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間（自 2024年3月1日 至 2024年11月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結損益計算書計上額 (注) 2
	長崎 ちゃんぽん	とんかつ	設備 メンテナンス	合計		
売上高（注）3						
外部顧客への売上高	26,184,641	5,838,839	138,806	32,162,287	—	32,162,287
セグメント間の内部 売上高又は振替高	1,738	372	1,254,845	1,256,957	△1,256,957	—
計	26,186,380	5,839,212	1,393,651	33,419,244	△1,256,957	32,162,287
セグメント利益	1,019,561	218,602	146,620	1,384,784	△111,825	1,272,958

(注) 1. セグメント利益の調整額△111,825千円には、セグメント間取引消去△41,404千円、

各報告セグメントに配分していない全社費用△70,421千円が含まれております。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

3. 売上高にはその他の営業収入を含めております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「長崎ちゃんぽん」セグメントにおいて、当第3四半期連結累計期間中の減損損失の計上額は89,477千円であります。

「とんかつ」セグメントにおいて、当第3四半期連結累計期間中の減損損失の計上額は23,947千円であります。

II 当第3四半期連結累計期間（自 2025年3月1日 至 2025年11月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結損益計算書計上額 (注) 2
	長崎 ちゃんぽん	とんかつ	設備 メンテナンス	合計		
売上高（注）3						
外部顧客への売上高	27,417,180	5,931,163	134,673	33,483,016	—	33,483,016
セグメント間の内部 売上高又は振替高	0	0	1,361,320	1,361,320	△1,361,320	—
計	27,417,180	5,931,163	1,495,994	34,844,337	△1,361,320	33,483,016
セグメント利益	902,909	163,899	162,556	1,229,365	△92,113	1,137,251

(注) 1. セグメント利益の調整額△92,113千円には、セグメント間取引消去△18,140千円、

各報告セグメントに配分していない全社費用△73,973千円が含まれております。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

3. 売上高にはその他の営業収入を含めております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「長崎ちゃんぽん」セグメントにおいて、当第3四半期連結累計期間中の減損損失の計上額は34,964千円であります。

「とんかつ」セグメントにおいて、当第3四半期連結累計期間中の減損損失の計上額は27,265千円であります。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。

なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費（無形固定資産に係る償却費を含む。）は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年3月1日 至 2024年11月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年3月1日 至 2025年11月30日)
減価償却費	1,448,592千円	1,459,406千円

3. 補足情報

フランチャイズ店舗の売上高を加味した総売上高

期別	項目	長崎ちゃんぽん事業			とんかつ事業			外販事業	その他	合計
		直営店	フランチャイズ店	合計	直営店	フランチャイズ店	合計			
2026年 2月期 第3四半期 連結累計 期間	売上高 (百万円)	22,734	6,230	28,965	5,381	1,251	6,633	2,237	131	37,965
	店舗数 (店)	422	136	558	70	17	87	—	—	645
2025年 2月期 第3四半期 連結累計 期間	売上高 (百万円)	21,807	6,088	27,869	5,314	1,249	6,564	2,065	131	36,656
	店舗数 (店)	425	140	565	70	17	87	—	—	652
対前年比率	売上高	104.3%	102.3%	103.8%	101.3%	100.2%	101.0%	108.3%	100.2%	103.6%
	店舗数	99.3%	97.1%	98.8%	100.0%	100.0%	100.0%	—	—	98.9%

(注) 当社グループはフランチャイズ事業を拡大しており、外部売上高の純粋比較ができるように、参考資料として掲示しております。

なお、四半期連結損益計算書に記載されている売上高は、フランチャイズ店舗から受け取るロイヤリティー収入と材料等売上高を計上しているため、この表の数値とは一致いたしません。